

令和7年度学校評価 共通項目比較分析

1 学校生活について

	質問事項	A 十分できている (十分している)	B おおむねできている (おおむねしている)	C あまりできていない (あまりしていない)	D 全くできていない (全くしていない)	R7指数	R6指数
児童	楽しく安心して学校生活を過ごしていますか。	61.3%	30.1%	6.5%	2.2%	3.5	3.5
保護者	子供は、楽しく安心して学校に通っていますか。	56.6%	33.3%	9.3%	0.8%	3.5	3.4
教職員	子供が明るく、生き生きと過ごしていますか。	26.9%	73.1%	0.0%	0.0%	3.3	3.5

2 授業について

	質問事項	A 十分できている (十分している)	B おおむねできている (おおむねしている)	C あまりできていない (あまりしていない)	D 全くできていない (全くしていない)	R7指数	R6指数
児童	先生は、みんながわかりやすいよう工夫して授業をしていますか。	66.3%	28.3%	4.3%	1.1%	3.6	3.6
保護者	学校は、子供が理解しやすいように、授業が工夫されていますか。	31.0%	63.6%	5.4%	0.0%	3.3	3.2
教職員	学び方を学び、主体的に学びに向かうことができるよう工夫した授業を実践していますか。	18.2%	68.2%	13.6%	0.0%	3.0	3.1
	学力向上のために、子供たちの興味・関心を高め、定着を図る工夫を講じることができていますか。	27.3%	72.7%	0.0%	0.0%	3.3	3.1

3 思いやりのある子

	質問事項	A 十分できている (十分している)	B おおむねできている (おおむねしている)	C あまりできていない (あまりしていない)	D 全くできていない (全くしていない)	R7指数	R6指数
児童	先生や友達に自分からあいさつをしていますか。	47.0%	33.0%	15.8%	4.3%	3.2	3.3
	友達と仲良く協力して活動していますか。	59.9%	34.4%	3.9%	1.8%	3.5	3.6
保護者	子供は、挨拶ができ、友達に優しく接していますか。	44.2%	51.2%	4.6%	0.0%	3.4	3.4
教職員	主体的に考えあいさつができ、友達にやさしくできる子供が育っていますか。	0.0%	61.5%	36.5%	0.0%	2.6	2.8

4 よく考える子

	質問事項	A 十分できている (十分している)	B おおむねできている (おおむねしている)	C あまりできていない (あまりしていない)	D 全くできていない (全くしていない)	R7指数	R6指数
児童	自分から進んで学習に取り組んでいますか。	36.9%	42.3%	15.8%	5.0%	3.1	3.2
保護者	子供は、自分から進んで学習に取り組んでいますか。	17.3%	52.0%	27.9%	2.3%	2.8	2.9
教職員	主体的に学び、自分の考えを、自分の言葉で表現できる子供が育っていますか。	0.0%	61.5%	36.5%	0.0%	2.6	2.6

5 健康な子

	質問事項	A 十分できている (十分している)	B おおむねできている (おおむねしている)	C あまりできていない (あまりしていない)	D 全くできていない (全くしていない)	R7指数	R6指数
児童	休み時間など進んで体を動かしていますか。	47.3%	25.8%	17.6%	9.3%	3.1	3.3
	健康や安全に気をつけて生活していますか。	55.9%	32.6%	8.6%	2.9%	3.4	3.6
保護者	子供は、進んで運動したり、健康・安全に関心をもって生活していますか。	35.7%	51.2%	10.8%	2.3%	3.2	3.2
教職員	主体的に進んで運動し、心身ともに健康な子供が育っていますか。	19.2%	76.9%	3.9%	0.0%	3.2	3.2

6 個別支援について

	質問事項	A 十分できている (十分している)	B おおむねできている (おおむねしている)	C あまりできていない (あまりしていない)	D 全くできていない (全くしていない)	R7指数	R6指数
児童	先生は一人一人にわからないところをわかるように教えていますか。	55.6%	33.3%	10.0%	1.1%	3.4	3.5
保護者	学校は、一人一人の子供に応じた指導に努めていますか。	29.4%	57.4%	11.6%	1.6%	3.1	3.0
教職員	個別の教育支援計画や個別の指導計画の活用の充実を図ることができていますか。	27.3%	68.2%	4.5%	0.0%	3.2	3.1

7 道徳教育について

	質問事項	A 十分できている (十分している)	B おおむねできている (おおむねしている)	C あまりできていない (あまりしていない)	D 全くできていない (全くしていない)	R7指数	R6指数
児童	道徳の授業で学んだことを生活で活かすことができますか	46.6%	38.7%	12.5%	2.2%	3.3	3.3
保護者	子供は、道徳の授業で学んだことを生活に活かすことができますか。	17.8%	64.3%	14.0%	3.9%	3.0	3.0
教職員	学びを生活に活かしていけるよう、体験活動など道徳の時間の授業を工夫することができていますか。	31.8%	63.6%	4.5%	0.0%	3.3	2.9

7項目中4項目は、児童が一番評価が高く、続いて保護者、教職員の順になっています。「個別支援」「道徳教育」の項目は、児童、教職員、保護者の順になっています。また、「思いやりのある子」の項目は、保護者、児童、教職員の順になっています。昨年度の評価と比べると、若干の指数の変動はあるものの、全体通してほぼ同じでした。項目別に見ると、「思いやりのある子」「よく考える子」に関しては、児童の評価と教職員の評価の差が0.5～0.6あり、児童と教職員の評価の格差が見られます。このことから、児童は「自分からあいさつしている」「友達と仲良くしている」「進んで学習している」「学習を理解している」と自己評価していますが、教職員が考える「自分からあいさつできる」「友達にやさしくできている」「進んで学習している」「学習を理解している」ところまで到達していないことが分かります。また、7項目中一番評価が高い評価になっている項目は、「学校生活について」であり、逆に7項目中一番評価が低い評価になっている項目は、「よく考える子」の項目でした。学校生活については、全体的に良好であることがうかがえます。それに対し、主体的に学習に取り組むことに課題が見られるので、今後はこれを共通課題として学力向上委員会を中心に手立てを考えていきます。